健康ってAなあ新聞

責任編集
長谷川勝士
（はせがわ鍼灸院）

1950年生まれ・姫路市出身
駒澤女子大学非常勤講師
（コミュニケーション論）
鍼灸師（社）日本鍼灸師会会員

ワンちゃんツボ療法

■ペットだって疲れているんだワン！

高血圧で悩んでいた人がペットを飼うことにより血圧が下がったり、うつ病の患者さんが犬と生活するようになると症状が消え元気が戻った、という話をよく聞きます。

ペットは私たち人間を癒してくれる大切な家族です。しかし、彼らも、今年の異常な長梅雨で体調を崩したり、猛暑でグッタリ。ようやく秋になりましたが相当に疲れが溜まり、様々な病気の症状がでています。そこで今月は、ペット（主にワンちゃん）のツボ療法をお教えしましょう。

●右は家の中に住むパグの「ポン」ちゃん（オス、6歳）。病歴「熱射病」（真夏に散歩の途中に発熱。緊急入院）
●左は庭に住むビーグルの「ジョナ」ちゃん（ギャル、3歳）。病歴「回虫」（散歩の途中に腐ったものを食った。投薬治療）

■今、注目のテリントンTタッチ！

ワンちゃんが喜ぶマッサージで有名なのが70年代にアメリカで生まれた「テリントンTタッチ」。しつけやストレス解消、性格改善に大きな効果があるといわれています。

テリントンTタッチで
ワンちゃんの体と心を揉みほぐす

❶「ノアのマーチ」
毛の流れに沿って、頭から背中、尻尾へ。足の付け根から関節、つま先へ指でていく。

❷アバロニのタッチ
一周と四分の一の円を描く。
時計回りに、優しく指でる。

❸耳のTタッチ
親指と人差し指でイヌの耳を挟む。
親指で耳の外側をつまむように指でる。

マッサージは体だけでなく、心までほぐす働きがあります。この「テリントンTタッチ」にツボ療法をプラスすると鬼に金棒、犬にドッグフード、と絶大な効果が表れます。

■風邪をひいたワン！

家の中で飼っているイヌは夏の間、冷房にさらされ、風邪をひいている可能性があります。イヌもウイルスや細菌などに感染すると風邪をひき、気管支炎や肺炎をおこします。

くしゃみやセキ、鼻水は出ていませんか？

イヌが風邪をひいたかどうかの判断をするには、お腹や手足の脇、そして鼻の周りを触ってみましょう。普段より熱さを感じたら発熱している証拠です。ただし、イヌの平熱は38・5度と人間よりもやや高めですのでご注意を。（治療ツボはイラストを見てね）

ハリハリくん VOL.6
ミャンコと私の 合体マッサージ

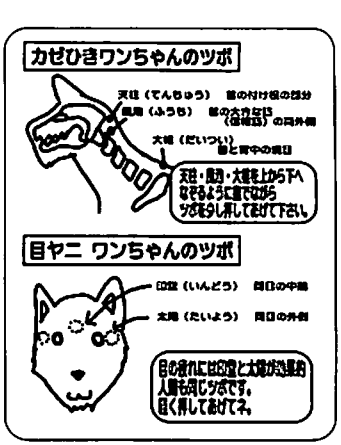
●便秘ぎみのとき
ネコをおなかにのっけましょう。
ほどよい温みが腰に安堵を与えてくれます。
約10分間でお互いのお腹を刺激しあえます。

●ちょっと冷えたとき
ひざにのっけて、
ネコのおなかの下に
あなたの手を入れましょう。
あったか&やわらか！
身も心もポカポカ。

●目が疲れたとき
ネコの足の裏を、まぶたにあてましょう。
肉球が、ちょっぴりひんやり。

■目ヤニがでるんだワン！

涙は角膜の乾燥を防ぎ、同時に涙腺以外の分泌腺から出る物質と混ざり合って、目の傷や結膜の炎症を治す重要な働きがあります。



目ヤニがひどく、目の全体を覆うような時は、何らかの炎症が起きている可能性があるので獣医さんに相談することをおススメします。

■ストレスがあるんだワン！

ワンちゃんは人間界での苦労に耐えて生きているので、ストレスが溜まると「決められた場所以外でお漏らしをする」「甘咬みよりきつい咬み方をする」「穴掘りをやめない」「食欲不振」などの行動や症状が出ます。こういう場合は、スキンシップが一番。両足の関節周辺をやさしく揉みほぐしてあげてください。「足三里」の刺激が全身に及び、きっと「快感だワン！」とうっとりするでしょう。